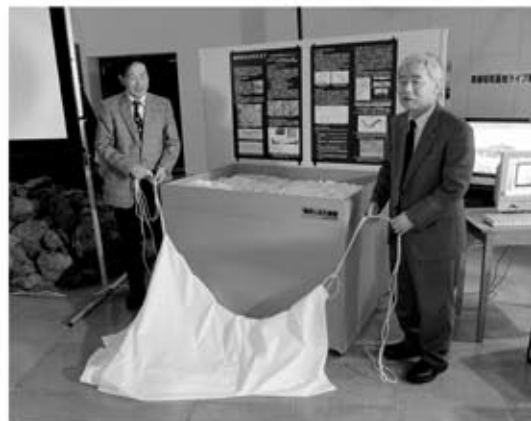




天文台だより

銀河の森天文台
2015 冬号
Vol.66

11/15、陸別しばれ模型完成！



「陸別しばれ模型」の除幕式を行う
高橋修平先生(左)と上出洋介館長(右)

日本一寒い町陸別町の冷える様子を3D模型で見る「陸別しばれ模型」が完成し、2014年11月15日に完成披露及び制作者の高橋修平先生(北海道立オホーツク流氷科学センター所長、北見工業大学名誉教授)によるミニ講演会「陸別はなぜ冷える? -盆地冷却現象とそのしくみ-」を開催しました。講演会では、北見工大時代の20年以上に亘り観測してきた陸別の気温データを元に、陸別町の冷えるしくみを解説され、町内にはアメダスの記録よりも冷える場所があり、最低気温で-8、9度も更に冷えていることがわかったとのことでした。

陸別しばれ模型は天文台1階展示室で常設展示しています。ぜひ、ご来館下さい。

10/12、北海道・星見人の会及び佐々木晶先生講演会を開催！

10月12日、北海道の星好きの方々が集まり、交流を深めるイベント「北海道・星見人の会」を銀河の森天文台で開催しました。今年は同時開催として、佐々木晶(大阪大学教授)先生の講演会「巨大ガス惑星と生命を育む氷衛星 -日本も参加するJUICE木星ミッション-」も行いました。

講演会では、惑星系と生命誕生の条件についてや木星・ガリレオ衛星の探査計画「JUICE」についてのお話があり、参加者も興味深く聞いていました。

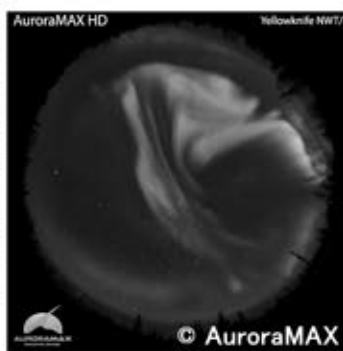


「オーロラウィーク2015」

2/4~15、オーロラ生中継開催！

2015年2月4日(水)~2月15日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2015」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。期間中、上出館長によるオーロラ予報や「オーロラ、何でも質問コーナー」も開催します。

イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台開館時間帯が現地の夜になります。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。ドーム内では、過去の素晴らしいオーロラのダイジェスト映像も上映しますので、ぜひご来館下さい。



10/8、皆既月食を観測！

2014年10月8日夜、日本では約3年ぶりに皆既月食が起きました。陸別は雲の多い空でしたが、月が欠けて皆既になっていく様子を観測することができました。

左の写真では、月食によって地球の影が浮かび上がる様子がわかります。

次回の皆既月食は、2015年4月4日夜に起きます。



月食の連続写真

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	10.1	13:06	2:44
1月 15日	6:51	16:17	24.1	1:03	11:46
2月 1日	6:38	16:39	11.6	14:16	4:23
2月 15日	6:21	16:58	25.6	2:48	12:47
3月 1日	5:59	17:16	10.1	13:06	3:06
3月 15日	5:35	17:34	24.1	1:31	11:34

天文行事&暦

1月

- 12/29-1/6 天文台休館日
- 4 しぶんぎ座流星群が極大 (AM11時 最大40個/時)
- 5 ○満月
- 6 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 15 水星が東方最大離角 (光度:-0.5等, 離角:18°54.5')
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 新月

2月

- 4 ○満月
- 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 4-15 オーロラウィーク2015
- 7 木星が衝(-2.6等, 視直径45.3")
- 19 ●新月
- 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 25 水星が西方最大離角 (光度:0.1等, 離角:26°44.8')

3月

- 6 ○満月
- 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
- 4-15 木星観望会
- 20 ●新月
- 21 春分(24節気:太陽黄経0°)

冬のイベント情報!!

☆ オーロラウィーク2015

「カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継」

毎年多くの方に体験していただいているカナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。リアルタイムでドームに投影されるオーロラの様子をお楽しみ下さい。

開催日時: 2月4日(水)~15日(日)

中継: 午後2時~8時まで(投影時間:1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

2015年太陽系天体みどころカレンダー

○:満月 ●:新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○5 ●20	○4 ●19	○6 ●20	○4 ●19	○4 ●18	○3 ●16	○231 ●16	○30 ●14	○28 ●13	○27 ●13	○26 ●12	○25 ●11
火星												
水星												
木星												
金星												
土星												
日	★晴れた日は毎日、太陽望遠鏡によって太陽の様子を見ることができます。											

太陽系天体のうち、天文台開館時間中に肉眼で見られる天体の見頃の時期を一週間のカレンダーのようにまとめました。黒線の期間内が見頃の時期になります。火星は2年2ヶ月ごとに見頃となるため、次の見頃は2016年です。今年4月4日には皆既月食が見られます。今年も空を眺めましょう☆天文台でお待ちしています!

☆木星観望会

しし座で衝を迎え、見頃になった木星の観望会を開催します。木星のしま模様は木星の雲の様子で、時間によっては「大赤斑」も見ることができます。じっくり観察してみてください。

開催日時: 3月4日(水)~3月15日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

今夜、宙を見上げて - M42・オリオン大星雲 -

冬の代表的な星座、オリオン座の三ツ星の下には小三ツ星があり、その中央にM42・オリオン大星雲という散光星雲があります。この星雲は全天で最も見やすく、見ごたえのある星雲として有名です。暗い夜空の下では肉眼でもぼんやりと輝く星雲が確認でき、写真に撮ると赤く美しい星雲の姿が浮かび上がります。赤いガスは星の誕生の材料となる水素のガスで、星雲の中心では活発に星が生まれています。望遠鏡では星雲の中心にトラペジウムと呼ばれる四つの生まれたての星を見ることができます。距離:約1500光年(筈)



天文台からのお知らせ

☆ 12月29日(月)~1月6日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp